



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
 四半期報告書提出予定日 2022年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年3月21日～2021年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	53,830	7.3	2,802	200.1	2,934	180.4	2,345	—
2021年3月期第3四半期	50,170	△13.3	933	△61.8	1,046	△53.5	155	△89.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,331百万円(225.8%) 2021年3月期第3四半期 715百万円(△36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第3四半期	円 銭 560.31	円 銭 —
2021年3月期第3四半期	37.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2022年3月期第3四半期	百万円 82,260	百万円 28,968	% 30.6	円 銭 6,016.68
2021年3月期	80,564	26,659	28.6	5,510.68

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 25,185百万円 2021年3月期 23,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	7.8	2,500	193.3	2,500	116.7	2,200	—	525.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	4,219,554株	2021年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	33,677株	2021年3月期	33,534株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	4,185,939株	2021年3月期3Q	4,186,080株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費の低迷や経済活動が抑制されるなど、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましては、国内においてもワクチン接種率が向上し、感染者数の減少や緊急事態宣言も解除されるなど明るい兆しが見られましたが、オミクロン株の流行により一部の国や地域では感染が再拡大するなど、依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは当期を最終年度とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』において、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境の変化は大きく、定量的目標の達成は厳しい状況ですが、「営業利益率」、「非容器事業の売上高拡大」及び「グループ横断機能の更なる強化」を引き続き追求してまいります。

業績につきましては、前年の緊急事態宣言下に比べて市況に復調の兆しが見られ、稼働率の向上により採算が改善し、グループ全体の売上高は53,830百万円(前年同四半期比7.3%増)、営業利益2,802百万円(前年同四半期比200.1%増)、経常利益2,934百万円(前年同四半期比180.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,345百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益155百万円)と前年を大きく上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、飲食店向けのビールびんや清酒びんの需要が堅調に推移したことなどにより、売上高は10,671百万円(前年同四半期比0.8%増)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、企業向け景品の受注と「アデリアレトロ」などの一般市場向けの販売が伸長しました。陶磁器は、国内のホテル向けの受注が大きく減少しましたが、海外はエアライン向けを除き受注が増加し、セグメント全体の売上高は8,527百万円(前年同四半期比17.2%増)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、充填機の販売はあったものの、主要ユーザーからの受注が減少したこともあり、売上高は5,456百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

PETボトル用ブリフォームは、夏場の天候不順の影響がありましたが、前年に初めての緊急事態宣言が発出されたことによる外出自粛の反動もあり、売上高は23,414百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、前年度より引き続き巣ごもり需要の増加に伴い調理器用トッププレートの受注が増加したことなどにより、売上高は1,718百万円(前年同四半期比27.3%増)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に海外市場において昨年から引き続き旺盛な需要があり販売を拡大しました。金属キャップは酒類及び医薬品向けともに出荷が伸び悩み、セグメント全体の売上高は4,041百万円(前年同四半期比17.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,695百万円増加し、82,260百万円となりました。これは主に、有形固定資産が減少しましたが、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債合計は613百万円減少し、53,291百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加した一方、その他(未払金)及び有利子負債が減少したことによるものです。

純資産合計は2,309百万円増加し、28,968百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は30.6%(前連結会計年度末は28.6%)となりました。

また、新型コロナウイルス感染症に関するリスクの対応策として、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年10月25日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,402	4,370
受取手形及び売掛金	13,621	15,346
有価証券	1,200	1,200
商品及び製品	12,508	13,089
仕掛品	861	880
原材料及び貯蔵品	4,299	4,667
その他	1,476	968
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	36,366	40,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,305	6,806
機械装置及び運搬具（純額）	4,280	4,156
土地	17,505	16,719
その他（純額）	6,181	5,302
有形固定資産合計	35,272	32,984
無形固定資産	177	168
投資その他の資産		
投資有価証券	6,922	6,891
その他	1,596	1,496
貸倒引当金	△23	△18
投資その他の資産合計	8,494	8,369
固定資産合計	43,944	41,522
繰延資産	253	215
資産合計	80,564	82,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,259	9,703
短期借入金	6,923	8,229
1年内償還予定の社債	885	760
未払法人税等	356	690
賞与引当金	636	397
その他	6,935	6,223
流動負債合計	23,996	26,005
固定負債		
社債	9,265	8,646
長期借入金	3,388	2,932
役員退職慰労引当金	75	77
汚染負荷量引当金	445	428
退職給付に係る負債	5,505	5,675
その他	11,227	9,524
固定負債合計	29,908	27,285
負債合計	53,905	53,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,606	4,606
利益剰余金	4,409	6,754
自己株式	△85	△85
株主資本合計	15,274	17,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,463	2,254
繰延ヘッジ損益	19	0
土地再評価差額金	5,393	5,393
為替換算調整勘定	13	△10
退職給付に係る調整累計額	△96	△73
その他の包括利益累計額合計	7,792	7,565
非支配株主持分	3,591	3,783
純資産合計	26,659	28,968
負債純資産合計	80,564	82,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年12月20日)
売上高	50,170	53,830
売上原価	41,069	42,851
売上総利益	9,100	10,978
販売費及び一般管理費	8,166	8,176
営業利益	933	2,802
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	126	142
為替差益	—	137
受取賃貸料	181	184
その他	361	115
営業外収益合計	674	581
営業外費用		
支払利息	235	185
賃貸収入原価	107	94
その他	218	169
営業外費用合計	561	449
経常利益	1,046	2,934
特別利益		
固定資産売却益	—	785
特別利益合計	—	785
特別損失		
固定資産売却損	54	—
投資有価証券評価損	27	—
固定資産除却損	96	—
減損損失	—	37
特別損失合計	178	37
税金等調整前四半期純利益	868	3,682
法人税、住民税及び事業税	401	922
法人税等調整額	167	332
法人税等合計	568	1,255
四半期純利益	299	2,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	143	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	155	2,345

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
四半期純利益	299	2,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	404	△77
繰延ヘッジ損益	△49	△18
為替換算調整勘定	1	△23
退職給付に係る調整額	59	22
その他の包括利益合計	416	△96
四半期包括利益	715	2,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682	2,117
非支配株主に係る四半期包括利益	33	213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産器 業材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,587	7,277	5,530	21,993	1,349	46,739	3,431	50,170	—	50,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	16	—	286	—	303	4,139	4,442	△4,442	—
計	10,588	7,293	5,530	22,280	1,349	47,042	7,570	54,612	△4,442	50,170
セグメント利益又は 損失(△)	△1,083	△733	207	1,996	121	508	425	934	△0	933

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、たな卸資産の調整額0百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産器 業材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,671	8,527	5,456	23,414	1,718	49,788	4,041	53,830	—	53,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	—	298	—	301	4,282	4,583	△4,583	—
計	10,672	8,529	5,456	23,713	1,718	50,089	8,323	58,413	△4,583	53,830
セグメント利益又は 損失(△)	66	△174	△107	2,031	358	2,174	624	2,798	3	2,802

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円には、たな卸資産の調整額3百万円、その他0百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。